

リーディングDXスクール事業【実践事例】

石垣市立登野城小学校（沖縄）【指定校】

【取組内容②】 問題解決における情報活用能力の育成

情報活用能力の育成

【共通実践】

- ①問題解決における情報活用(収集・整理・伝達)
- ②朝の帯時間を使って**タイピングの練習**

具体的な取り組み

1 問題解決における情報活用

(1) **情報収集の基本**は教科書、各種資料、教師の提示資料

- ①課題解決のためにはどんな情報が必要か、**見方・考え方を意識**させながら、情報収集に向かわせる。
- ②集めた情報や整理した情報を友達と共有するなど、**伝え合うこと**を意識する。

(2)**朝の帯タイム**の時間を使って基本的操作の練習を行う

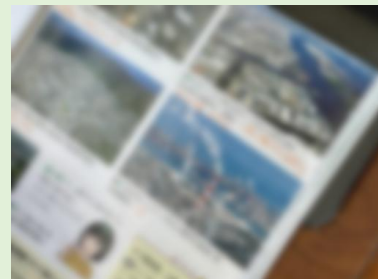
- ①タイピングの練習(キータッチの基本など)
- ②低学年は、端末の扱い方や約束、Classroomへの入り方など

<児童の変容>

問題を解決するためには、何が必要で、どんな情報を使えばいいのかを考えながら、学びを進める姿がある。また、学習したことを伝えるために、集めた情報を整理する力がついてきた。

情報収集

情報収集の基本は教科書から線を引いたり、書き込んだりする。



見方・考え方

情報を集めるときは、見方・考え方を示すことで、焦点を絞ったり、考えをつなげたりできるようにする。



資料

教師の資料は問題解決のための手立てとなるように意識する。

小単元① 地層のつくり

問 地層は一つ一つの層がどのようなものでできているのだろうか。



言語能力

自分なりに問題解決したことを伝えるために情報を書き込んでいく。
この後は、自分の考えを共有する。

